

“シベリア抑留”を知っていますか？

(1945～1956)

～祖父や父たちの記憶を語り継ぐ～

戦後80年

映画、講演、展示で知るシベリア抑留

西倉勝
(百歳)

チケット1000円 (中学生以下無料)

7/12(土)
ホールにて

100歳が語る！

「私の体験したシベリア抑留」

映画上映

「阿彦哲郎物語
戦争の囚われ人」

実話

抑留体験者が描いた

7/11～13 作品展示

地下ギャラリーは、入場無料

* 詳細は裏面参照

- ・ 7/11(金)～13(日) ギャラリー：スケッチ・絵画など 資料展示
- ・ 7/12(土) ホール：映画上映・監督挨拶/西倉勝氏講話
- ・ 7/11(金) リーサル室：栗原俊雄氏 講演
- ・ 7/13(日) リーサル室：有光健氏講演、有賀勇次氏講話

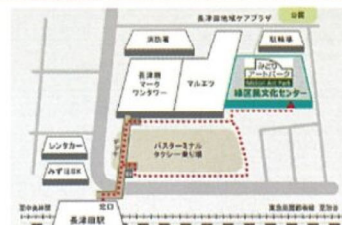
<主催> 「ひと・まち」長津田倶楽部

<共催> みどりアートパーク 緑区役所

<協力> シベリア抑留者支援・記録センター

<後援> 横浜市教育委員会、駐日カザフスタン大使館

<連絡先> 070-6640-8727 rbykg417@yahoo.co.jp 佐々木京子



■会場：みどりアートパーク

長津田駅直結4分(緑区民文化センター)

3日間

シベリア抑留 絵画展示

入場無料

7/11(金)～13(日) 地下ギャラリー 10:30～18:00

◇井上馨画文「友よゆるせ」24点 ◇澤田精之助作 絵巻「シベリア抑留の思い出」

◇飯野珪次郎画文「カザフスタン抑留生活記録・砂に描く」24点

*山下静夫、四國五郎氏の作品も一部展示予定

=映画上映・講話=

申込要

7/12(土) 13:00上映開始 ホール 定員300名

チケット 1000円

(中学生以下無料)



『阿彦哲郎の物語 戦争の囚われ人』

第二次世界大戦後、いわれのない罪によって逮捕された日本人をカザフスタンと日本の合作で描いた歴史映画。

監督：佐藤伸寿/エルダル・カバーロフアリヤ・ウバリャノバ 主演：小笠原瑛作(キックボクサー)

112分



*みどりアートパークにて 前売りチケット販売



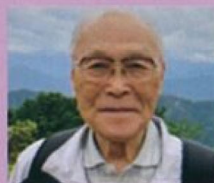
佐藤伸寿 監督

外務省職員としてカザフスタン大使館赴任時代に、第二次世界大戦後カザフスタンで抑留され帰国がままならなかった日本人の民間人が居たことを知り、複数の映画でその事実を伝えている。

西倉 勝 100歳

1925年5月新潟県柏崎市生まれ。

シベリアのコムソモリスクで3年もの抑留生活を送り、土木工事、住宅建設等の労働に従事。語り部として自身の過酷な経験を語り伝えている。



=講演=

申込要

無料講演

7/11(金)

両日共に 13:30～14:30 地下リハーサル室 定員50名



講演『未完の悲劇・シベリア』栗原 俊雄さん

1967年生まれ東京都出身。早稲田大学卒、毎日新聞社入社。

2020年から専門記者。日本近現代史、戦後補償史をテーマに取材。著書に『遺骨』

『東京大空襲の戦後史』『シベリア抑留 最後の帰還者』など多数。

2009年正田桂一郎賞、2023年ジャーナリズムXアワードZ賞受賞



講演『シベリア抑留って何？』有光 健さん

1951年生まれ東京都出身。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。

アジアと日本の人権問題に取り組む。全国抑留者補償協議会事務局長を経て

2011年からシベリア抑留者支援・記録センター代表世話人、早稲田大学国際和解学研究所招聘研究員。

7/13(日)



講話『シベリア抑留と父』有賀 勇次さん

1943年生まれ81歳。横浜市緑区在住。2022年、シベリア抑留者で消息不明だった父の死亡の事実を知る。一人ぼっちだった幼少期の寂しさから、地域の子どもの居場所づくりとして「みどりパチパチ会」を立ち上げ、ボランティアで小学生に英語を教えている。今回父への想いと戦争の悲惨さを語る。

